



2017~2018

津南ロータリークラブ週報

第2630地区 ROTARY CLUB OF TSU-SOUTH



例会日/毎火曜日
例会場/津都ホテル 津市大門7-15
事務所/津市大門10-7
ピッチャーズビル2階
TEL 225-2373 FAX 213-6175

会長/山田 俊郎
幹事/西井 健之
E-mail: src.tsu@dream.ocn.ne.jp
ホームページ: http://tsu-minami-rc.com/

第2509回例会 2018年2月6日(火) 天候 晴

— 2月は平和と紛争予防/紛争解決月間 —



例会予定

- 2月13日(火) 特別休会
- 2月20日(火) 会員卓話 大川 吉崇会員
- 2月27日(火) 外来卓話
茶室設計士 裏千家 飯島 照彦様
- 3月6日(火) 会員卓話 何川 高会員
- 3月14日(火) 会長エレクト研修報告

進行担当 [宮崎副SAA]

国歌斉唱 ロータリーソング 我等の生業

来訪者 [山田会長]

ゲストスピーカー 松本 好市様
(四日市羽津医療センター名誉院長)
矢谷 和也様
(社会福祉法人洗心福祉会 経営企画室)

出席報告 [阿部委員]

2月6日 出席率 48名中 39名 81.25%
1月23日 修正出席率 48名中 45名 93.75%

ロータリー財団寄附表彰 [伊藤(孝)委員長]

- 山田俊郎会員 マルチプル1、ベネファクター

次年度組織表配布 [飯田副幹事]

ニコBOX [中山委員長]

山田 俊郎君 四日市羽津医療センター名誉院長
松本好市先生、本日の卓話よろしく
お願いします。
西井 健之君 四日市羽津医療センター名誉院長
松本好市様、本日の卓話楽しみに
しております。

会長報告 [山田会長]

◆「理」
学校の区分を見ると文系に対し「理系」あるいは、「理数系」とも区分されます。医療も「理系」の世界に分類されます。しかし、ニーズの高い分類にも関わらず、世間では「理系離」を言われるのがいささか気になるところです。他方で一般に「文系」と思われる分野でも倫理、心理、論理、地理、そして経理等「理」の言葉が用いられています。さらには、生活に根ざした料理、整理といった言葉に「理」が付きまします。元々は、中国哲学の用語のことで、物事の道筋を分ける、整えるといった意味があるそうです。どうやら私達は「理」に囲まれ、「理」を追求して生活しているのかもしれない。組織にとっての「理」は何なのか。「理想」もファンタジーでなく「筋道」でないといけないと思います。「理念」実現までの筋道は見えているのか。

幹事報告 [西井幹事]

- ★ 2月13日(火) 特別休会の件
- ★ 2月20日(火) 定例理事会開催の件
- ★ ロータリー手帳申込みの件
- ★ 例会変更 1件

委員会報告《親睦委員会》 [萩原副委員長]

- 2月会員誕生日のお祝い：
内田 祐仁君、旭 晋君、土田 研輔君
薄井 美弥君
- 2月配偶者の誕生日のお祝い：
日比あつ子様、川喜田眞子様、林 紋様
澤田むつみ様、家田 尚子様、中山 りか様
- 2月結婚記念日のお祝い：
吉村 哲夫君、日南田隆司君、岩井 純朗君
吹戸 研一君、竹内 敏明君、庄司 正樹君
樋口 直人君

小川 恭平君 今日もロータリーの友情のお陰で楽しい例会に出席することが出来ました。感謝!! 感謝!!

旭 晋君 松本先生、本日は外来卓話ご苦労様です。

伊藤 孝行君 松本先生ようこそ本日卓話お世話になります。感謝して。

栗田 明君 松本先生、ご多忙の中お越し頂き大変ありがとうございます。

竹内 敏明君 松本先生、今日は体調優れぬところ卓話に来て頂き申し訳ありません。宜しく願い申し上げます。

田島 和雄君 松本先生有難うございます。卓話を楽しみにしております。

今野信太郎君 松本先生、本日の卓話よろしく願い致します。秋の叙勲、おめでとうございます。

岩井 純朗君 先日は職場例会出席ありがとうございました。

藤田 孝郎君 (OB) 立春とはいえまだまだ寒い日が続いておりますが皆様お変わりはありませんでしょうか。さて、先日は、竹内敏明様に大変お世話になりました。この場をお借り致しまして御礼申し上げます。津南RCの益々のご発展及びご活躍をお祈り申し上げます。

四日市羽津医療センター名誉院長

松本好市先生をお迎えして、

日南田隆司君、伊藤 仁君、千原 一典君
吹戸 研一君、宮崎 吉史君、松田 英明君
何川 高君、澤田 勝志君、伊藤 歳恭君
佐々木 喬君、日比 隆幸君、山本 哲也君
土田 研輔君、鈴木 康義君、奥田 邦雄君

外来卓話

【老い】との付き合い方 素晴らしい最期【死】を迎えるには

四日市羽津医療センター名誉院長
洗心福祉会高茶屋クリニック院長
松本 好市 様



此のたびは、歴史ある津南RCの例会の席にてお話させていただく機会をいただきまして有り難うございます。

私は、三重大学で消化器外科医として30年間勤め、その後55歳で四日市社会保険病院（現四日市羽津医療センター）の院長に赴任し、4年前に引退、名誉院長に就きました。

昨年9月に後期高齢者（嫌な言葉です）の仲間入りし、また昨年11月には奇しくも、長い間ご苦労さんでしたと云う意味？の保健衛生功労・瑞寶小綬賞を頂いた自分の今までの生き方は、自分らしく生きてこれたか？これからはどのように生きていくか？などを考え、幾つかの本を読みましたのでその一部をお話しさせていただきます。

仏教の世界では【苦】と云う言葉があります。

四苦八苦の苦ですが、四苦とは、『生老病死』のことですが、本日は、外科医らしからぬ内容となっておりますが、ベトナムのベト君の手術のことを付録に、四苦のうち、少なからず対応可能な【病】を中心に、時間の許す限り【老い】との付き合い方、素晴らしい最期【死】を迎えるにはについてお話をさせていただきます。

本邦では、昨年度は134万人が死亡していますが、死因は、癌が圧倒的に多く昨年一年間で37万人です。ご存知のように2人に1人は癌になり、3人に1人は癌で亡くなる時代になっています。つまり私たちの最大の敵は、お隣の国々などではなく、【癌】と云うことになります。しかし、癌は早期にさえ発見し、治療を行えば生還できる【苦】です。そこで、本日は癌について少し詳しく述べ、その生い立ち、早期診断に健診の意義、早期治療の重要性などを述べ、また、癌発生に関わる最大の要因、(受動)喫煙について詳しくお話しします。

最期に、私たちは、あと何年生きることができる？女性は何故長寿？などをお話しし、そして悔いのない最期を迎えるには、を少しお話しさせていただきます。超難しい命題ですが…。

例会変更のご案内

上 野RC 2月27日(火) 公認休会 ※ビジター受付はご容赦願います。
3月20日(火) 18:30点鐘 ヒルホテルサンピア伊賀にて 上野・上野東合同夜間例会のため
※ビジター受付は、ヒルホテルサンピア伊賀フロントにて12:00~12:30まで行います。